

キャラクター名	プレイヤー名
舟生田 虹雛(ふにうだ いりす)	

シンドローム	オルクス ソラリス	ワークス	高校生	カヴァー	
オプション		年齢	17	性別	女
覚醒	素体	衝動	自傷	初期侵食率	32%
出自	疎まれた子	経験	永劫の別れ	邂逅	春日恭二

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	24
肉体	0	1	0			1	行動値	4
感覚	1	0	0			1	(非装備時)	4
精神	2	0	0			2	戦闘移動	9
社会	5	0	3			8	全力移動	18

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃			RC	2		交渉	4	
回避	1		知覚	1		意志			調達		
運転:			芸術:			知識:			情報: 噂話	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
	交渉	8r+4				
		0				
		0				
		0				

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品		合計装甲:	0	合計回避:	0
ロイス					
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイム	消費	
記憶探索者(メモリーダイバー)	P	N			
春日恭二(かすがきょうじ)	P 好奇心	N 猜疑心			
彼氏	P 純愛	N 悔悟			
アンジェロ	P 有為	N 無関心			
	P	N			
	P	N			
	P	N			
最大財産P:	16	残り財産P:			

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果:	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果:	コスト分のHPで復活							
絡め取る大地	3	1	セットアップ	視界	-	自動	-	
効果:	そのラウンドの間、対象の【行動値】を-[LV*2]する。							
導きの華	3	4	メジャー	視界	単体	自動	-	
効果:	次に行うメジャーアクションの判定の達成値を+[LV*2]する。							
要の陣形	2	3	メジャー	-	3体	シンドローム	-	
効果:	組み合わせた行動の対象を3体に変更する。1シナリオにLV回まで。							
狂戦士	3	5	メジャー	視界	単体	<RC>/自動	80	
効果:	次に行うメジャーアクションの判定のC値-1(下限値6)判定のダイス+[LV*2]個する。							
妖精の手	1	4	オート	視界	単体	自動	-	
効果:	判定のダイスを振った直後に使用。判定のダイス目のひとつを10に変更する。1回の判定につき1回まで。1シナリオにLV回まで。							
力の法則	3	4	オート	視界	単体	自動	100	
効果:	ダメージロールの直前に使用。ダメージを+[LV+1]Dする。自身を対象にできず、1ラウンドに1回まで。							
命の盾	1	1	リアクション	至近	自身	(交渉)/対決	-	
効果:	組み合わせた判定でドッジを行える。							
群れの召喚	2	1	リアクショ	至近	自身	対決	-	
効果:	《命の盾》と組み合わせ使用。組み合わせた判定のダイスを+LV個する。							
リフレックス:ソラリス	2	2	シンドローム	至近	自身	-	-	
効果:	組み合わせた判定のC値LV(下限値7)							
誘蛾香	1	-	メジャー	視界	単体	自動	-	
効果:	特定の動物や虫が好むにおいを散布して周辺に呼び集める。フェロモンを生成して手懐ける事も可。呼び集めた動物や虫はある程度意図した通りに操ることができる。							
効果:								
効果:								
効果:								

「来て、私の虫たち」「この子たちだけよ。私の味方は」
「人間なんて、嫌いよ」

一人称:私 二人称:あなた、名字+さん

物騒かで大人しそうな少女だが、昆虫採取と研究が好きでフィールドワークの為に各地を渡り歩いたりするアウトドア派。人嫌いで自分の考えははっきり言うタイプ。顔の火傷を隠すために目深に帽子をかぶっていた。(現在は帽子はあまりしなくなった)いじめから逃れるため、自殺をしに行く最中にFHIに誘拐される。

◆事件を乗り越え、現在はUGNで能力の使い方を教わりつつ、事件で知り合った人の便利屋で手伝いをしている。料理と掃除は得意。

彼女は美人だが虫好きの変わり者と言われ、友人も少なかった。だがそんな彼女にも趣味や考えを受け入れてくれる彼氏が居た。穏やかで優しく、彼女の事を見守ってくれていた彼の事を彼女は大切に思っていた。性格も顔も良く他の女子生徒たちにも人気があった彼が、変わり者と呼ばれる少女を恋人に選んだことにクラスの中心グループの女子生徒達は嫉妬した。グループのリーダーを中心とした女子生徒たちはある日、彼女を陥れるために事故を起こす。事故に見えるように、薬品室の大量の劇薬が彼女に掛かるように仕掛けを施したのだ。だが女子生徒たちの予想外の事が起こった。大量の劇薬を振りそつになった彼女を、たまたま居合わせた彼が庇った。劇薬を被った彼は全身が爛れ、喉も焼け、呼吸困難を起こして亡くなってしまった。更には彼女も顔に酷い火傷を負ってしまう。大切な彼を喪い呆然とする彼女を追い詰めるように主犯の女子生徒たちは彼女が彼を殺した犯人だと罪を擦り付ける。学校は彼女にいじめという形で罪への制裁を始める。本当の罪人を裁判長として。変わり者の殺人者となった彼女に味方は居らず、本当の話を知ってもらえず、彼女は孤独と罪の意識から逃れる為に苛烈になっていく度重なるいじめに苦しんだ